



1学年は校外学習へ

5月29日金曜日に、1学年の校外学習が行われました。出発前日までは天候が心配されました。当日は朝方少々雨模様でしたが、日中は雨の心配はなく、予定通りの活動を行うことができました。また、校外学習中、大きなけがや事故等もなく全員が無事に学校まで戻ることができたことも何よりでした。

今回の校外学習における一つ目の大きな目標は、班ごとに自分たちで行程を考え、何を見て、何を体験して、自分たちの力にしていくかをしっかりと考え抜くことでした。行程から考えることは、該当の場所までの時間や交通手段、諸費用などを含めて自分たちで考える必要があり、どこに行って何を学ぶかを含めてきちんと班員で話し合わなければ決めることができません。1学年の目標として掲げている「想像力・伝達力・協働力」を駆使しなければならない場面がたくさんありました。その中で生徒たちは、きちんと自分たちで話し合って結論を出し、当日も班長を中心に集団での行動をきちんと意識して行うことができていたと思います。

二つ目の大きな目標は、普段中学校での生活で行っていること（時間を守る、あいさつや返事をしっかりするなど）を、学校外の活動でしっかりと行うことができるかどうかの確認です。普段の学校での日常の活動は、学校の中だけでうまくやればよいものではありません。むしろ、学校の外での活動の時に、普段自分たちが当たり前に行っていることを、外に行った時にもできるかどうか大きなポイントです。日常の活動でのルールやマナーは、そのまま世の中の一般常識にも通じています。これから世の中に出ていく中学生が、きちんと世の中のルールやマナーを守って生活できるかが大切な部分です。この点は、各学級の反省で時間の甘さや電車内で多少騒いってしまったという反省が見られています。今後は、この校外学習での反省を日常の学校生活に生かしていけるかどうかカギになります。

せっかく行った校外学習です。この行事をただ楽しかったと終わらせるのではなく、今後の生活に生かしていけるような行動を意識してほしいと思っています。



3学年修学旅行について

6月1日(月)から4日(木)までの3泊4日で、3学年の修学旅行が行われました。

当日は朝早く学校を出発し、約5時間かけて函館に到着しました。函館では、班ごとに市内を巡る自主研修を実施しました。生徒たちは金森赤レンガや熱帯植物園など、地域の施設や歴史、文化に触れながら、計画に基づいて主体的に活動していました。昼食もラッキーピエロなど、事前に選んだお店でとることができました。

2日目は、学級ごとに五稜郭タワーで研修を行い、函館のお土産を楽しそうに選ぶ姿が見られました。その後、津軽海峡フェリーに乗り東北の地に足を踏み入



れました。津軽伝承工芸館では、夕食の説明を行う係の方が話す東北ならではの方言を聞いて興味関心をもった生徒も多く、賑やかな時を過ごしました。



3日目は、猊鼻溪と中尊寺で東北の自然や遺産に触れました。あいにくの雨でしたが、猊鼻溪の自然に圧倒され、中尊寺の歴史の深さに感動していました。そこにはたくさんの学びがありました。

また、東北のお土産を見ながらご家族のために一生懸命お土産を選ぶ姿も見られました。学年レクでは、学級代表を中心に全員で盛り上がりました。特に学年のテーマソングである嵐の「Happiness」を歌った場面では、生徒の「幸福」を感じることができました。

最終日は、フェリーが想定以上に揺れ、船酔いをする生徒も多く見られましたが、室蘭港から学校までのバスでは各学級で最高潮の盛り上がりが見られました。

今回の修学旅行を通して、生徒たちは集団行動の中での思いやりやマナー、自主性の大切さを実感しました。この経験が、今後の学校生活や将来に生かされていくことを願っています。

